

平成 29 年度 新年度のご挨拶

『医療法の一部を改正する法律案』可決されました

(一社) 岐阜県臨床検査技師会
会長 兼子 徹

会員・賛助会員の皆様、いつもご理解とご協力ありがとうございます。

「新年のご挨拶」で「平成 29 年はどうやら新年早々に、病院・診療所などの臨床検査室の精度管理を法律で義務付ける法案が国会に提出されるようです。」とお知らせしました。

新年早々ではありませんでしたが、3 月 10 日に『医療法等の一部を改正する法律案』が内閣から衆議院に提出され、5 月 26 日に可決、参議院に送られました。

6 月 1 日には参議院の厚生労働委員会で宮島議員が質問に立ち、6 月 6 日参議院でも可決されました。主な内容は…、

「病院などの管理者は、自施設で検体検査を行う場合、施設の構造設備、管理組織、検査精度の確保を、厚労省の基準に適合させなくてはならない。」

厚労省の基準は後日、検査室の規模別に決定されると思われます。内部・外部精度管理の実施、機器の保守点検、作業書の整備などが科せられるのではないかと思います。

「病院などの管理者が検体検査を委託する先は、登録を受けた衛生検査所でなくてはならない。ブランチラボ等も厚労省の基準に適合してはならない。」

「検体検査を、人体から排出・採取された検体の検査で厚労省の定めるものとする。」

今まで臨床検査は法律には、微生物学的検査、血清学的検査、血液学的検査、病理学的検査、寄生虫学的検査、生化学的検査と記載されていましたが、時代に合わせまた新しい検査にも適合できるよう変更されています。

厚労省の基準の詳細は、今後の通知を待たなくてはなりませんが、負担が増えることは間違いなさそうな感じです。今後も情報が届き次第お知らせしていきたいと思いますので、どうなるか注意しておいてくださいね。

なお、改正の詳細は岐臨技ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

平成 29 年夏

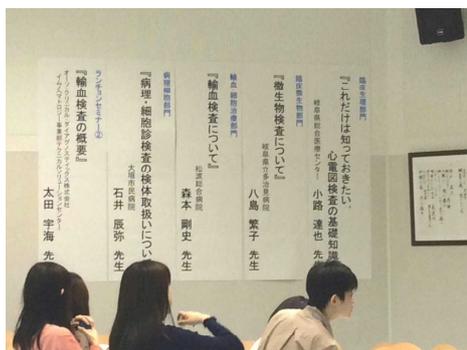
新人サポート研修会

岐阜医療科学大学 早緑ホール

5月28日(日)

岐阜大学医学部附属病院 帖佐 光洋

5月28日 日曜日、心地良い晴天に恵まれ、新緑の美しい季節に岐阜医療科学大学 早緑ホールにて、岐臨技主催の新人サポート研修会が開催されました。県内より、学生45名を含む111名が参加し、8部門の講演を1日かけて臨床検査の基礎を学びました。今回は前回のアンケートを踏まえ血液ガスの基礎、また新人が初めに直面する採血についての内容が加えられ、より充実した内容であったと思います。現在、世代交代により若い層が中心に各検査室を引っ張っていかねばいけません。即戦力が以前にまして必要とされていますので、今回、全ての分野の基本を学べたことは、これからの技術習得に少しでも役に立ったのではないかと思います。また講演内容は県内で活躍されている先生方が丁寧に経験に基づいた症例も多く含まれていますので、参加できなかった方も、ホームページのテキストを見て、是非勉強してみてください。また多くの学生さんも参加できる唯一の研修会であり、より一層充実した内容を提供できるように努力したいと思います。



岐阜大学医学部附属病院 日比野 恵

私が新人サポート研修会を受けて一番印象的だった講義は、石田真理子先生の「採血について」です。私は5月から採血の練習をしているため、採血手順についての講義はとても勉強になりました。私は今まで採血練習をしていて、針が血管に入らずに失敗してしまった時には針をすぐに抜いていましたが、今回の講義の中では針が血管に入らなかった時には、針をすぐには抜かずに針先を回転させたり、少し動かす方法を学ぶことが出来ました。採血は痛みを伴う行為なため、できるだけ1回の採血で成功できるように、この方法を生かしてこれからの練習に取り組みたいと思いました。また私は、採血練習の時に患者さんに対する声かけが上手くできていないところがありました。今回の講義では患者さんの様子を常に伺い声をかける事の大切さを再確認できたため、手技だけではなく患者さんに対する接遇の面も練習していきたいと思いました。今回の新人サポート研修会では基礎の内容から説明があり、どの講義もとても勉強になりました。

春季拡大研修会

岐阜大学医学部 記念館

6月4日(日)

春季拡大研修会報告

羽島市民病院 高木 康雄

平成 29 年 6 月 4 日(日) 岐阜大学医学部記念会館において、平成 29 年度春季拡大研修会を開催しました。参加者は岐臨技会員 81 名、賛助会員 13 名、市民公開講座への市民の参加 5 名でした。

テーマは『移植』で、輸血部門からは岐阜大学医学部附属病院輸血部臨床講師の北川順一先生と、血液部門からは岐阜市民病院血液内科部長の笠原千嗣先生を招いて研修会を行いました。

北川先生には、造血幹細胞移植に用いる骨髄・末梢血幹細胞・臍帯血のメリット・デメリットについてのご説明や、岐阜大学病院で実際に行われている移植に至るまでの作業内容と、輸血部が移植業務で担う役割について詳しくご説明いただきました。また軽いジョークを時々交えて大変親しみやすいご講演でした。

笠原先生には、岐阜市民病院で実際行われている急性白血病の治療について、同種移植・自家移植での効果及び欠点についてのご説明や、移植後 GVHD(移植片対宿主病)発症メカニズムからその治療方法まで詳しくご説明いただきました。

市民公開講座では、岐阜大学大学院医学系研究科循環病態学講師の金森寛充先生を招いてオートファジーの仕組みと生理的な役割についてご説明いただき、さらに金森先生が研究を進めている心臓循環器分野において、オートファジーが担う心機能の維持および心不全の改善についてご紹介いただき、市民の皆さまも大変興味深く聞いておられました。

最後になりますが、ご講演で質疑応答を上手に取りまとめて頂いた司会者の先生方や、運営にあたり研修会を支えてくださったスタッフ皆さまに深く感謝申し上げます。

平成 30 年 3 月 25 日(日)には OKB ふれあい会館で岐阜地区が担当し県学会を開催いたします。こちらにも参加をお願いします。



笠原 千嗣 先生



北川 順一 先生



金森 寛充 先生

施設紹介 山内ホスピタル



当院は明治 41 年岐阜胃腸病醫院として開設、昭和 22 年に徹明通に山内胃腸病院として再建され、昭和 63 年に現在の市橋に移転、山内ホスピタルに改称されました。消化器内科を中心に内科、外科、整形外科を有し、地域の皆様に安心・安全な医療を提供しております。付属施設の間人ドック健診センターには年間 1 万 7 千名ほどの受診があり、平成 27 年には介護老人保健施設も開設いたしました。検査室は現在 19 名(非常勤 8 名、助手 2 名)で、診療部門、健診部門、検体検査、生理検査、…全てを全員体制で対応します。スペシャリストになるのは困難ですが、広く・ちょっと深く、興味のある分野、新しい検査や業務、自分の意欲でいろんなことにチャレンジできるのは当検査室のいいところと感じています。他部署からも頼られて、てんやわんやになることも多いですが…。まだまだ働き盛り、伸び盛り☆いろんな研修会に出発すると思いますが、これからもよろしく願いたします。

水川 真梨絵



おめでとう ございます

6月4日に開催されました平成29年度定時総会にて功労賞・永年職務精励賞を右の方々を受賞されました。

皆さまおめでとうございます！

功労賞	中村 秀博 様
	石郷 潮美 様
永年職務精励賞	兼平 昌彦 様
	武藤 晴美 様
	内田 綾子 様
	浅野 康弘 様
	秋山 美貴 様
	伊藤 令子 様
	西尾 真司 様



大垣市民病院 石郷 潮美 様

お知らせ

平成 29 年度日臨技

中部圏支部医学検査学会(第 56 回)は平成 29 年 9 月 30 日(土)~10 月 1 日(日)名古屋国際会議場にて開催されます！奮ってご参加ください！

編集部から

夏空がまぶしい季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。

先日、平成 29 年度技師会懇親会が行われました。

お忙しい中ご参加いただきました先生方、お疲れ様でした。各施設間での交流、意見交換を目的に、定期的(?)に開催しようということになりました。早めにご案内させていただきますので皆様の積極的なご参加お待ちしております。

発行所(一社)岐阜県臨床検査技師会

発行責任者 兼子 徹

〒500-8384 岐阜市藪田南 3 丁目 5 番地 10 コスタ岐阜県庁前 603 号

編集者 高崎 昭彦 松浦 康博 種村 久子
E-mail giringi-office@giringi.jp

TEL 058-275-5596 FAX 058-213-0220